

ひとのもりとつくる

一般社団法人まなびの森

震災後の歩み

2011年3月11日	被災 それまで宮城県角田市で20年運営してきた学習塾を一事閉鎖
2011年3月21日～	教室を復旧し。学校が再開されるまで地域の小中高生に教室を開放する
2011年6月	山元町の仮設住宅（旧坂元中跡）集会所で一力所目の「移動教室」を開設 被災した小・中学生の学習支援活動を開始する
2011年12月	団体を一般社団法人として登記 文部科学省より緊急スクールカウンセラー等派遣事業（平成23年度）を受託 山下中学＆坂元中学で冬期講習を実施 学校の先生方との連携が始まる
2012年1月	山下中学＆坂元中学で放課後の自習教室を開講
2012年2月	20代の若者3名を常勤職員として雇用（常勤職員5名の体制になる）
2012年3月	仮設住宅（浅生原・内手）の集会所で二力所目の「移動教室」を開始
2012年4月	仮設住宅（浅生原・東田）の集会所で三力所目の「移動教室」を開始 文部科学省より緊急スクールカウンセラー等派遣事業（平成24年度）を受託 以後、同事業を毎年受託し仮設住宅集会所と中学校の教室での学習支援活動を継続中
2012年7月～8月	山下中学＆坂元中学で夏期講習を実施 以後、毎年定例化
2012年12月	山下中学＆坂元中学で冬期講習を実施 以後、毎年定例化
2014年4月	角田中学校で、不登校の生徒のための居場所づくり事業（学習室）を開始 大学新卒の若者1名を常勤職員として雇用（常勤職員7名の体制になる）
2014年9月～	角田中学校で放課後の学習支援活動を開始
2015年4月～	山下中学校で日中の学習支援活動を開始 （常勤職員8名の体制になる）
2016年4月～	坂元中学校で日中の学習支援活動を開始 （常勤職員9名の体制になる）
2017年5月～	山元町に団体の拠点を開設 （常勤職員10名になる）
2017年7月～	山元町で不登校の子どもたちの居場所づくりを開始
2018年5月～	角田中学校で実施してきた不登校の生徒のための居場所作り事業が、市の事業になる 当団体スタッフ2名を角田市に派遣
2018年5月～	山元町で、高校生の居場所作り事業を開始

これまでにいただいた援助・支援

日本財団	ロードプロジェクト	2011年6月	全日本社会貢献団体機構	社会貢献活動助成	2013年4月
新潟NPO協会	NPO団体助成	2011年8月	中央共同募金会	災害ボランティアNPO活動サポート基金	
東日本復興支援財団	子どもサポート基金	2011年11月		2014年4月	2015年8月
		2012年4月	ジャパンプラットフォーム 共に生きるファンド		2015年4月
		2018年4月	丸紅基金	福祉助成金	2015年4月
ガリバーアンターナショナル	車両2台寄贈	2011年12月	ベネッセ子ども基金		2016年4月
さわやか福祉財団	連合愛のカンパ	2012年1月			2017年4月
トヨタ財団	地域社会プログラム	2012年4月			2018年4月

現在実施中の事業

学習支援事業	・仮設住宅集会所の「移動教室」3力所（被災した小中学生対象の夜間の学習支援活動） ・放課後の学習支援教室 山下中学校・坂元中学校（山元町） 角田中学校（角田市） ・長期休業中の学習支援教室 山下中学校・坂元中学校（山元町） 角田中学校（角田市） ・不登校、別室登校の生徒の居場所づくり 山元教室（自主拠点） ・中学校の日中の授業補助 山下中学校・坂元中学校
自主事業	・小中高生を対象とした学習塾（宮城県角田市・宮城県大河原町・宮城県山元町） ・中学生を対象とした模試会場の運営（宮城県角田市・宮城県大河原町）

平成29年9月現在、上記の事業を常勤職員8名、学生スタッフ40名の体制で事業を実施中